



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場会社名 株式会社 太平製作所  
 コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>

上場取引所 大 名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 成田 光將  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 桂山 哲夫

TEL 0568-73-6411

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	3,717	152.3	544	—	539	—	536	—
23年3月期第3四半期	1,473	△6.7	△394	—	△387	—	△383	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 540百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △393百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	39.98	—
23年3月期第3四半期	△27.93	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
24年3月期第3四半期	6,932	—	2,953	—	42.6	—
23年3月期	5,431	—	2,413	—	44.4	—

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,953百万円 23年3月期 2,413百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	66.0	565	—	555	—	500	—	37.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	15,000,000 株	23年3月期	15,000,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,574,354 株	23年3月期	1,573,303 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	13,426,303 株	23年3月期3Q	13,739,451 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気悪化を脱し徐々に回復傾向にはあるものの、欧州の債務危機を背景にした世界経済の低迷、長期化している円高等の影響により景気動向は依然として足踏み状態であり、先行き不透明な状況であります。

当社関連業界におきましても、このような影響を受け、住宅着工戸数においても依然として伸び悩みの状況にあり、安定した回復には至っていないものと思われまます。

しかしながら、徐々にではあります、受注の確保が可能となり、当社を取り巻く環境にも明るい兆しが見え始めました。

このような状況のもと国内及び国外営業が一体になって営業活動を推し進めた結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高3,717百万円（前年同四半期比152.3%増）、営業利益544百万円（前年同四半期394百万円の営業損失）、経常利益539百万円（前年同四半期387百万円の経常損失）、四半期純利益536百万円（前年同四半期383百万円の四半期純損失）となり、前年度を大きく上回る結果となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①合板機械事業

合板機械事業は、合板業界全体が震災の影響を受けたものの、その復旧・復興需要を受けて当社グループの受注の確保へとつながり、当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,558百万円（前年同四半期比351.7%増）となりました。営業利益につきましては、売上増加に加え、コスト削減等に最大限努力しました結果、546百万円（前年同四半期は256百万円の営業損失）となりました。

## ②木工機械事業

木工機械事業は、木工業界全体の需要が、少しずつ上向きになりつつあることが、設備投資意欲の回復へとつながり、それに伴い受注が確保出来たことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は491百万円（前年同四半期比42.2%増）となりました。営業利益につきましては、売上の増加に加え、コスト削減や機械の改良・改善等に努力しました結果、32百万円（前年同四半期は63百万円の営業損失）となりました。

## ③住宅建材事業

住宅建材事業は、震災による影響で木材が大量に流出したことにより木材製品等が依然として不足していることから住宅建材全体の需要としては大変厳しい状況であります。しかし、復興により少しずつ改善に向かいつつあることから、当第3四半期連結累計期間の売上高は666百万円（前年同四半期比18.8%増）となり、営業利益につきましては、25百万円（前年同四半期は29百万円の営業損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて48.8%増加し、5,067百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,071百万円、たな卸資産が576百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて8.0%減少し、1,864百万円となりました。これは主に、有形固定資産が54百万円、投資その他の資産が113百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて27.6%増加し、6,932百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて57.5%増加し、2,973百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が766百万円、前受金が262百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて10.9%減少し、1,006百万円となりました。これは主に、長期借入金が100百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて31.9%増加し、3,979百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて22.4%増加し、2,953百万円となりました。これは主に、利益剰余金が536百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、東日本大震災の影響による材料の高騰等により、一時期は衰退しておりましたが、復旧・復興活動の促進により徐々に回復に向かいつつあります。当社グループの取引先におきましても設備投資意欲の十分な回復までには至っておりませんが、徐々に上向き傾向になるものと思われます。

平成23年（4月～12月）の住宅着工戸数は64万1千戸と前年同期間と比べ1万5千戸（約2.4%）の増加となりました。

当社の主力合板機械事業での大型機械は全て受注生産であることから、売上を計上するまでには、長期間を要することや、震災の影響により得意先の受け入れ態勢が整わないといった要因等もあり、安定した売上を計上することが極めて難しい状況であります。一方、新しい製品の開発や機械の改良・改善にも力を注いでおりますが、著しく差別化された商品力を持つまでには到達していないのが現状です。

このような状況のなか当社グループは、今後とも業績の改善を最重要課題として取り組んでまいると共に、安全な稼働が出来るようなバックアップ体制の構築や新しい機械の開発・機械の改良・改善等に努めるようグループ一丸となって取り組んでまいり所存であります。

なお、連結業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,856,863	1,835,093
受取手形及び売掛金	1,121,031	2,192,719
有価証券	99,960	99,960
製品	31,688	31,688
仕掛品	163,870	683,093
原材料及び貯蔵品	124,094	180,965
その他	21,142	61,762
貸倒引当金	△13,811	△17,332
流動資産合計	3,404,840	5,067,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	764,144	732,381
土地	689,746	689,746
その他（純額）	111,728	89,468
有形固定資産合計	1,565,619	1,511,596
無形固定資産	43,025	48,828
投資その他の資産	417,765	304,287
固定資産合計	2,026,410	1,864,712
資産合計	5,431,250	6,932,662
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	623,489	1,390,184
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	1,438	2,644
賞与引当金	20,857	32,958
その他	192,423	497,351
流動負債合計	1,888,209	2,973,138
固定負債		
長期借入金	600,000	500,000
繰延税金負債	232,057	204,506
退職給付引当金	211,277	202,394
役員退職慰労引当金	61,387	68,402
その他	25,229	31,115
固定負債合計	1,129,950	1,006,418
負債合計	3,018,159	3,979,557

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	77,201	77,201
利益剰余金	1,795,186	2,331,950
自己株式	△205,371	△205,485
株主資本合計	2,417,016	2,953,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,925	△560
その他の包括利益累計額合計	△3,925	△560
純資産合計	2,413,090	2,953,105
負債純資産合計	5,431,250	6,932,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,473,570	3,717,146
売上原価	1,435,953	2,617,365
売上総利益	37,616	1,099,780
販売費及び一般管理費	431,888	555,044
営業利益又は営業損失(△)	△394,271	544,735
営業外収益		
受取利息	1,175	676
受取配当金	3,728	3,739
鉄屑売却収入	1,091	2,738
助成金収入	8,153	1,955
その他	14,417	5,020
営業外収益合計	28,566	14,130
営業外費用		
支払利息	14,226	11,881
デリバティブ評価損	7,510	—
為替差損	—	6,155
その他	535	1,690
営業外費用合計	22,272	19,728
経常利益又は経常損失(△)	△387,977	539,138
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9,478	—
特別利益合計	9,478	—
特別損失		
固定資産除売却損	148	301
投資有価証券評価損	—	32,589
前期損益修正損	4,349	—
特別損失合計	4,498	32,891
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△382,996	506,247
法人税、住民税及び事業税	852	852
法人税等調整額	1,237	△31,368
過年度法人税等	△1,316	—
法人税等合計	773	△30,516
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△383,770	536,763
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△383,770	536,763



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△383,770	536,763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,123	3,365
その他の包括利益合計	△10,123	3,365
四半期包括利益	△393,893	540,129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△393,893	540,129
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	566,528	345,754	561,287	1,473,570
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	10,063	—	10,063
計	566,528	355,817	561,287	1,483,633
セグメント損失（△）	△256,347	△63,702	△29,309	△349,360

2. 報告セグメントごとの利益又は損失の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

損 失	金 額
報告セグメント計	△349,360
セグメント間取引消去	△10,063
全社費用（注）	△34,847
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△394,271

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,558,844	491,511	666,790	3,717,146
セグメント間の内部売上高及び振替高	—	2,490	—	2,490
計	2,558,844	494,001	666,790	3,719,636
セグメント利益	546,401	32,109	25,970	604,481

2. 報告セグメントごとの利益又は損失の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	604,481
セグメント間取引消去	△2,490
全社費用(注)	△57,255
四半期連結損益計算書の営業利益	544,735

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。